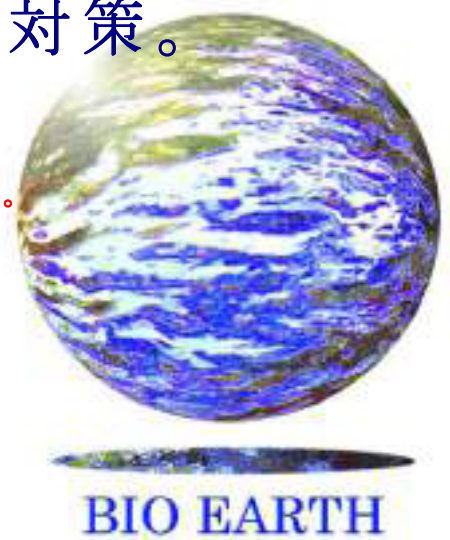


「バイオアース」で、感染予防対策。

お使いの加湿器タンクにヌメリが発生していませんか？
加湿器のヌメリ原因菌による感染が問題になっています。

- ヌメリ原因菌(レジオネラ菌・赤カビ等)の増殖を抑制。
- 加湿器内部のウィルス・細菌・カビ菌を洗浄・除去。
- 空気中の浮遊ウィルス・細菌・カビ菌を除去。
- プラス 抗菌持続効果で室内の微生物の増殖を抑制。
- インフルエンザウィルス・ノロウィルス・大腸菌を約10秒で不活化。



BIO EARTH (バイオアース)

～空間抗菌という発想～

今、お使いの加湿器(超音波式)に**バイオアースを入れるだけで**室内をまるごと消臭・抗菌！



バイオアース 250ml(計量カップ=10ml付)

バイオアースは、細菌類を死滅させることにより、細菌類が出す臭い成分を根源から撲滅することにより、消臭効果を発揮します。

＜主な有効ウィルス・細菌＞

新型インフルエンザ(H1N1)、鳥インフルエンザ(H5N3)、ノロ・ロタウィルス、ヘルペス、O-157、サルモネラ、レジオネラ菌、コレラ菌、黄色ブドウ球菌、多剤耐性菌(MRSA)、白癬菌、緑膿菌、カビ菌他

- 目には見えない室内の浮遊菌や浮遊ウィルスにバイオアースの微細成分が効果を発揮、持続的に作用します！
- 同時に加湿器内のカビ対策にも効果的です！

※ 水1リットルにバイオアース10mlを薄めてお使い下さい。

超音波加湿器専用ですが、加熱式でも利用できます。

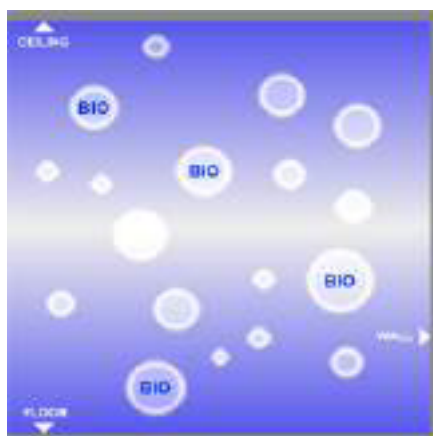
(加熱式加湿器を利用の際は薄めた液体が分離しない様、時々かき混ぜて分離を防ぎながらお使い下さい。)

注 [ポリアミノプロピルビグアニドはコンタクトレンズ洗浄液や化粧品などに使用されています。]

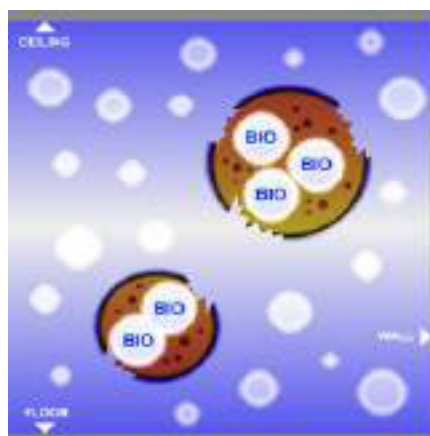
主成分：水、ポリアミノプロピルビグアニド

「バイオアース」空間抗菌のメカニズム

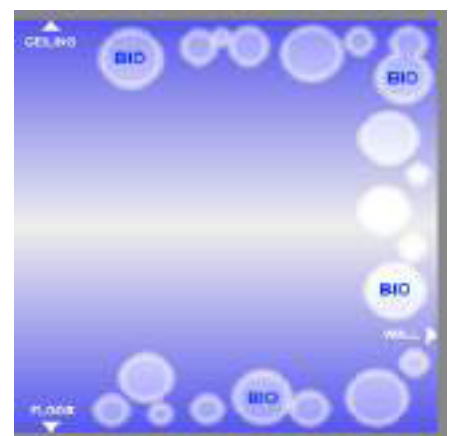
図はイメージです



① 空気中に「バイオアース」放出
「バイオアース」が空気中に放出されて、微細成分を浮遊させます。



② ウィルスや細菌類に作用
ウィルス・細菌類に「バイオアース」が直接触れ、細胞膜を破壊し、DNA・RNA合成を阻害します。



③ 対象物に抗菌効果が持続
対象物、壁・床等に「バイオアース」の有効成分が付着し、継続して抗菌効果を維持し続けます。



バイオアース 10L タンク



バイオアース 2Lタンク

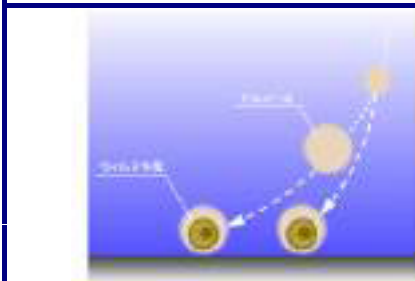
『除菌』と『抗菌』の違い

～アルコール除菌では不十分です。～

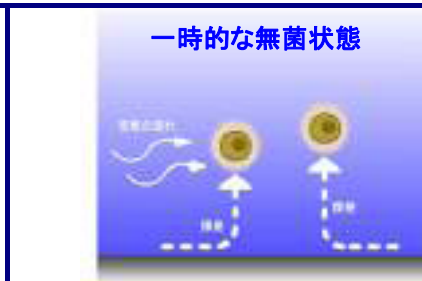
■アルコール除菌のメカニズム

図はイメージです

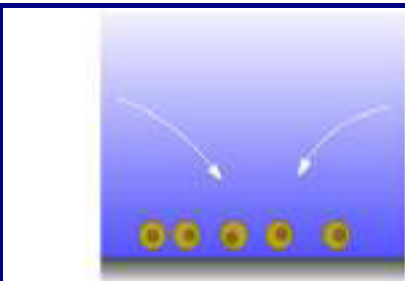
アルコール除菌とは、対象物から、アルコールなどの揮発性質を利用し、一時的にウイルス・細菌類を他の場所へ移動させること。
(ウイルス・細菌類は基本的には死滅しない。)



① ウイルスや菌をアルコールで包み込む。



② 空気の流れや、アルコールの揮発性質を利用し、浮き上がらせる。

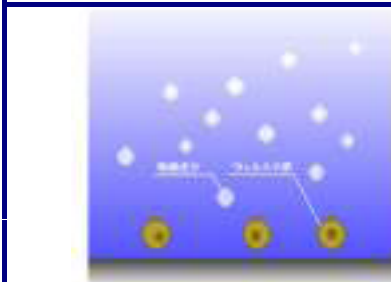


③ 数分後にはウイルス、浮遊菌が付着。

■バイオソル(バイオアース)の抗菌メカニズム

図はイメージです

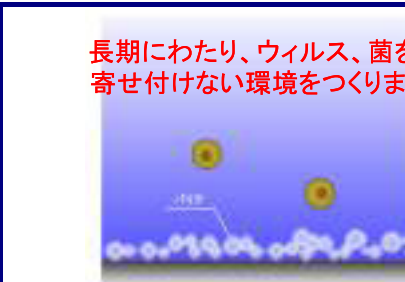
バイオソル抗菌とは、対象物や空間に存在するウイルス・細菌類を移動させるのではなく、菌類の発生・生育・増殖を抑制すること。
また、一時的ではなく、その効果は数週間から数年持続し、長期にわたり菌類が生存しにくい環境をつくること。
(殺菌・滅菌・消毒・除菌・静菌などすべての効果を意味します。)



① ウイルス、菌にバイオアースの微細成分を噴霧し、付着させます。



② 微細成分がウイルス、菌の細胞膜を損傷させ、呼吸機能、DNA・RNA合成を阻害させ、死滅させる。



③ 微細成分は持続し、アルコール除菌と対照的に微細成分がバリアを形成。

- 当商品には浮遊ウイルス等を死滅・除去する機能はありますが、使用により無菌環境をつくるものではなく、感染予防を保証するものではありません。
- 抗菌効果に付きましては、状況や使い方によって異なります。

バイオソル抗菌技術とは。

バイオソルは、防衛省が細菌対策や環境改善などの目的で、唯一認め、採用している抗菌剤です。国内では、ウイルス・細菌類に対する試験で、不活化効果が証明されています。
韓国では、厚生省の検査機関で菌類に対し、「火の次に強い」と言われたほど、高い評価を得ています。

バイオアースの安全性。

バイオアースの成分は厚生労働省が化粧品の添加剤として、安全性が証明されている物質を使用しています。
また、環境ホルモンの疑いがある化学物質は一切使用していない安全な抗菌剤です。国内での各種安全試験でも安全性の高さが証明されています。



【発売元】

株式会社 テクノテラ

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-7-10

TEL. (03)-5919-3432 FAX. (03)-5919-3532